

質問順位	5	質問者	小野保之議員		
件名	項目		要旨	メモ	
1. 市民生活行政	1. 交通安全対策について		1. 第8次滝川市交通安全計画における各施策の中で、どれも重要であるが啓発事業を最も優先すべきと考える。交通事故のない安全で安心なまちづくりのために、関係機関と連携し市民が交通事故の加害者・被害者とならないことを目指し、各施策を展開しなければならぬと考えます。現在、市民等から交通安全に関する要望では何が最も多いのか。また、警察署への要望が実現しているケースは何件あるのか伺う。		
2. 建設行政	1. 市営住宅の効率的運用について		1. 江別市が市営住宅の効率的運用のためとして、「今まで3LDK等に入居した人が、子どもの巣立ち、家族の他界により単身になった場合でも広い居室に住み、一方で子育て中の若い世帯が、空きがなく入居できない等のミスマッチの解決に向け、市営住宅の入居条件として世帯人数が減り一人暮らしとなった場合、単身用居室に住み替える事をあらかじめ約束する誓約書を提出してもらい、人数に応じた居室を効率的に提供できるよう規則を設ける。」と発表したのが、当市でも検討の必要があると思うが考えを伺う。		
	2. 公園の整備計画について		1. 公園緑地造成事業で公園施設の改築、遊具の改修工事等が進んでいるが、市内の公園整備の優先順位等、住民の要望・意見等は反映されているのか伺う。 2. 滝川公園とその周辺の整備は考えているのか伺う。		

質問順位	5	質問者	小野保之議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
3. 防災行政	1. 洪水対策について	1. 異常気象により全国的に大雨の被害が広がっていますが、最近の言葉で「経験したことがないような大雨」により、北海道も道南、道東方面が被害に遭っています。こういう中で滝川も例外ではなく、洪水対策で2度目の質問になりますが、泉町、扇町地区の低地に住宅等400戸余りがありますが、記録的短時間の大雨によりラウネ川が氾濫した場合、本当に水がはけるのか、また、低地帯の内水対策は検討されているのか伺う。			
	2. 中小河川対策について	1. ゲリラ豪雨による氾濫の恐れのある河川及び場所の把握は行っているのか。また、早期に改修を進めるとした場合どの河川なのか。災害が起きてからではなく、早急に行うべきと思うが考えを伺う。			
		2. 先日、滝川地区広域消防事務組合と市教委が2007年に締結された災害時協力協定に滝川市体育協会が加わりました。エンジン付ゴムボート1艇、手こぎボート10艇、救命胴衣100着が備品として追加されたが、緊急時に対応すべき訓練が必要であると思うが検討されているのか伺う。			
4. 教育行政	1. 教員住宅について	1. 教員住宅の処分等の考え方をお聞きします。ストックマネジメントとの関連が深いと思いますが、扇町、滝の川の廃屋となっている教員住宅の処分については、解体、売却、解体と答弁がぶれているので確認します。9月の広報たきかわに扇町旧教員住宅24戸の売却の掲載がありました。現在は草刈りもされて申し込み待ちと思いますが、条件に12月27日までに取り壊すことが必須とありますが、申し込みがなかった場合はどうするのか伺う。			

質問順位	5	質問者	小野保之議員		
件名	項目		要旨	メモ	
	2. 滝の川球場について		1. 昭和63年に開設されてから26年が経過します。市営球場もやっとなの入れ替え等が行われました。滝の川球場は、小、中学生、高校生、一般と合せると年間5,300人と多くの利用があり、全道大会等、いろいろな冠大会もあるようです。何度も述べていますが、当市の球場の数は他と比べると多いが、施設はきつい言葉で言うと誠にお粗末としか言えません。運営面での予算も厳しく大変とは思いますが、現在利用料金は徴収していないとのことですが、改修、補修費用等の補てん等を考えて徴収を検討してはどうか。また、グラウンドの土の入れ替えが必要と思いますが、お考えはあるか伺う。		
	3. スポーツ活動の推進と支援について		1. 先日、滝川西高軟式野球部の全国大会出場に際して100万円の補正予算が提案され可決されました。残念ながら一回戦で敗退しましたが、試合内容が評価され、東京国体には推薦で出場が決まりました。小、中、高校と滝川は野球が盛んで、しかもどのクラスも強いです。これから少子高齢化が進む中、スポーツ活動をする生徒も減少し、野球についても、一校一チームが組めない所も出てきています。しかし中年、熟年、高年は増加しています。元気な若者から高年まで多くの種目で活動、活躍があります。確かに子どもは宝ですが、税金を納めている中年から高年の活動、活躍を今一度見直して、活動支援を拡大してはどうか。野球に限らず元気で活躍する仲間、チーム、グループを前例がないからと断るのではなく、支援する考えがあるか伺う。		